

市長マニフェストの制度設計と 実行スケジュールについて

園田議員

(1) ことも夢基金と保育料第2子無料化について
今議会に提案されていることも夢基金と保育料第2子無料化については、私が平成22年3月定例会で述べた反対討論を受け、新たに制度設計されたものであると期待する。財源の問題、認可保育園以外の保育施設(幼稚園、認可外保育園)に対する支援のあり方など公平性の問題について、その政策内容を市民に対して明言していただきたい。

(2) 新たな行政サービスの拡

大について

① 市長選におけるマニフェスト型公開討論会において、松本市長が述べた提案型公共サービス民営化制度の導入について、どのような分野において民営化を進めていくのか。また、その実行性とスケジュールについて問う。

② 市長選におけるマニフェスト型公開討論会において、松本市長が述べた土曜日の市役所開庁について、その実行性とスケジュールを市民に対して明言していただきたい。

市長

(1) 財源については、市民のご協力により厳しい財政状況を乗り越えることができ、当初の予想より財政の健全化が着実に進むという見通しがあり、ポート会計からの繰入金により対応できると考えている。これまでの認可保育園に限定した第2子保育料の軽減事業は、当初の予定どおり本年度をもって終了する。来年度からは、未就学児童の

子育て支援という新たな制度の中での事業展開を計画している。新たな制度ではこれまでの認可保育園に2人以上通わせている子育て世帯に加え、公立、私立の幼稚園、さらに認定こども園の第2子以降も制度の対象とすることを考えている。認可外保育園を利用する多

子世帯については今後の課題としたいが、平成24年度以降に何らかの対策

ができないか前向きに検討したいと考えている。

市長

(2) ① 提案型公共サービス民営化制度については、まだ実施の方向が具体化していない。平成23年度から、まずは庁内でのいうものが対象にできるのかしっかりと整理するなどの取り組みを始める。

市長

(2) ② 土曜日の市役所開庁については、職員組合との協議なども必要となることから、現在、協議している。私としては平成23年度か24年度から実施していきたいと思っている。

(その他の質問事項)

- ・ 住民主導型の地域活性化事業について
- ・ 機構改革について



市立大村市民病院の 救急体制の充実をめざして!

三田村議員

(1) 福祉のまち日本一について
福祉のまち日本一の具体的な内容はどのようなものか。

(2) 市民病院の内科系夜間休日救急外来診療休止について

① 外来患者や入院患者が不安を訴えるなどの反応はなかったか? また、11月以降の夜間救急はどのような状況か。

② 今後の内科救急患者の対応について取り組まれていると思うが、進捗状況はどうか。

市長

(1) 福祉のまち日本一とは、子どもから高齢者まで、大村に住むすべての市民が、毎日の生活の中で心と体が健康で生き生きと暮らし、経済的なゆとりがあり、幸せで笑顔があふれ、安全で安心な生活が送れるというま

福祉保健部理事

(2) ① 各家庭への説明チラシの配布とともに外来患者、入院患者へ丁寧な説明した。また、質問等については、医療相談の窓口を設け、対応している。市民の反応については、長崎医療センター、医師会の皆様

の休日の日曜当番医等のおかげで苦情等は数件しかあっていない。11月の救急外来の状況は、10月の患者数が361名であったのに対し、11月が132名で、3分の1に減少している。

市長

(2) ② 一日も早く、市民病院の本来の機能の一つである救急医療を何としても元に戻したい。遅

くとも来年4月には戻したいというのが念願であり努力している。先般、長崎医療センター、大村市医師会、市民病院、県の保健所等の5者で構成する救急医療の緊急会議を開き、今後の救急医療についての協議を行い、市民病院の救急外来に長崎医療センター、大村市医師会に協力いただき、市民病院の医師も参加して内科救急診療を再開する方向で話し合い、今後内科救急診療の緊急的な取り組みについて具体的な方向性を詰めることにしている。市民病院の内科系の救急外来診療の一日も早い再開が一番の課題であるので、指定管理者である東京の地域医療振興協会へ直接出向き、一日も早く内科医師を確保し、従来どおりの24時間365日の救急医療再開を強く要望する予定にしている。いずれにしても、早く解決するように、最大の努力をしていく。

(その他の質問事項)

- ・ がん予防対策について
- ・ 介護保険事業について
- ・ パラグライダー練習場の整備について